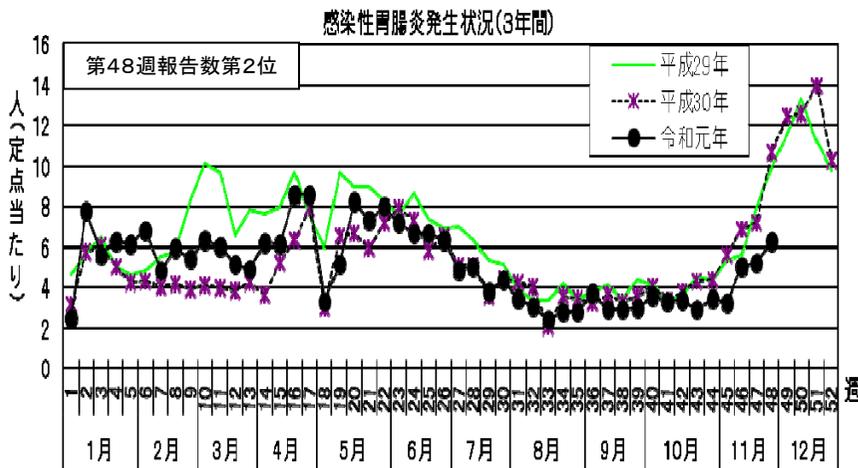
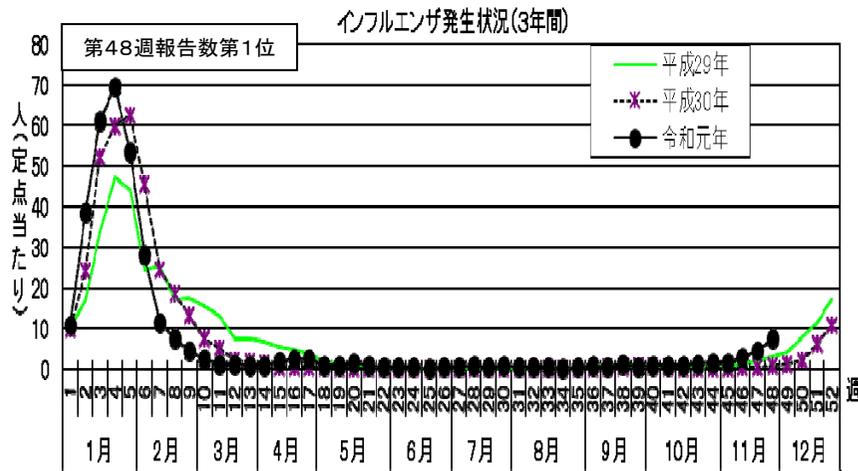


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和元年11月25日（月）～令和元年12月1日（日）〔令和元年第48週〕の感染症発生状況

第48週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は7.36人と前週（4.48人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.30人と前週（5.24人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は5.05人と前週（3.62人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



急な高熱～咽頭結膜熱にも御注意ください！～

咽頭結膜熱はアデノウイルスを原因とする感染症で、夏だけでなく冬にも流行がみられます。

川崎市では、令和元年第48週（11月25日～12月1日）の定点当たり患者報告数が0.57人と前週から増加しており、過去5年間の平均と比べ、比較的高いレベルで推移しています。アデノウイルスは感染力が強く、飛沫や接触により感染します。特に保育園や幼稚園など集団生活の場では、手洗いなどの予防対策を徹底し、タオルなどの共有を避けましょう。

咽頭結膜熱とは？

【感染経路】

飛沫感染又は手指を介した接触感染（結膜あるいは上気道から感染）

【潜伏期間】

5～7日間

【主な症状】

突然の発熱（39℃前後）、喉の痛み、結膜充血、目の痛み、目やになど

【予防方法】

- ・流水や石鹸による手洗いを徹底する。
- ・タオル類やおもちゃの共有は避ける。
- ・プール利用前後にシャワーを浴びる。



川崎市における咽頭結膜熱発生状況
 ー令和元年と過去5年間平均の比較ー



アデノウイルスには多くの型があり、咽頭炎、扁桃炎、結膜炎、胃腸炎など様々な症状を引き起こします。